



ちゅういっぷぐみだより

2017年 11月 第3号

日中のぽかぽかとしたお日さまがより温かく感じられるほど、朝晩の冷え込みに晩秋の気配が漂う頃となりました。

衣服の調節をしたり、体力づくりを行いながら、一段と寒くなる季節に負けず毎日元気いっぱい過ごしていきたいと思います。

ひとりで出来るもん！



進級して色々な事を経験し、様々な面で成長した姿を見せてくれる子ども達。最近では、洋服等の片付けが上手になってきました。以前は、脱いだ服の裏返しを直すのはなかなか難しく、「どうやるの?」「出来ない」と言ってくる姿が多く見られていました。「手を入れたら、グーにしてひっぱるんだよ!」と知らせると、出来るようになり、「できたー」「みて!」と得意気に見せてくれます。靴下の“くるりんぱっ”では、1~2回程教えると出来るようになり、今ではあっという間に出来ています。

時には“1番になりたい”“早く遊びたい”という気持ちから、乱雑になってしまう事もありますが、その都度保育士が手伝ったりしながら、片付けられるようにしています。出来た時には沢山褒め、共に喜び、安全に気を付けながらいろんな事にチャレンジさせて、次への自信へ繋げていけるようにしたいと思います。



エピソード その1



ある日、クラスで散歩に行こうとすると1匹のカマキリが門の前に居るのを見つけました。触るのはちょっぴり怖いようで、そっと見つめる子ども達。「カマキリさん、こんにちは。」と声を掛けたり、出掛ける前には「カマキリさん、宜しくね!」と留守を守ってもらえるよう声を掛ける姿が見られました。

また、戸外遊びではお兄さん、お姉さんの姿を見て虫の居る場所を覚え、かたつむりやカマキリ等を見つけ、観察したりして楽しんでいます。初めは虫に触れなかった子も、今ではすっかり触れるようになりました。

エピソード その2

子ども達同士の会話がますます増え、毎日にぎやかなちゅうりっぷぐみ。最近、戸外に出ると自然と船の遊具に集まり「動物園に行こう」「ディズニーランドに行こう」と言っておっこ遊びが始まります。ハンドルを握り、舵を取っている子が「着きました!」と皆に声を掛けると、さっと立ち上がり、滑り台や階段を使って降り、追いかけてこやかくれんぼなどして楽しんでいます。そして、気付くとまた船の遊具に集まり、また違う場所へお出掛けする姿が見られています。

また、テレビドラマの、“コード・ブルーごっこ”も流行っています。「山Pは〇〇ね」「ガッキーは〇〇!」と役になりきり、「ドクターヘリ、エンジンスタート!」と言って遊びを楽しむ姿がとても可愛らしいです。